

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.5</b>
<b>1 音環境</b>								<b>3.6</b>
<b>1.1 騒音</b>								
1	室内騒音レベル	3.0	0.40	-	-			
2	設備騒音対策	3.0	1.00	3.0	-			
<b>1.2 遮音</b>								
1	開口部遮音性能	4.2	0.40	-	-			
2	界壁遮音性能	5.0	0.60	3.0	-			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	0.40	3.0	-			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0	-			
<b>1.3 吸音</b>								
	事務所は天井(岩綿吸音板)と床(タイルカーペット)の吸音材使用	4.0	0.20	3.0	-			
<b>2 温熱環境</b>								<b>3.0</b>
<b>2.1 室温制御</b>								
1	室温	3.0	0.35	-	-			
2	負荷変動・追従制御性	3.8	0.50	-	-			
3	外皮性能	3.0	0.38	3.0	-			
4	ゾーン別制御性	-	-	-	-			
5	温度・湿度制御	5.0	0.25	3.0	-			
6	個別制御	3.0	0.25	-	-			
7	時間外空調に対する配慮	4.0	0.38	-	-			
8	監視システム	-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>								
		1.0	0.20	3.0	-			
<b>2.3 空調方式</b>								
		3.0	0.30	3.0	-			
<b>3 光・視環境</b>								<b>3.6</b>
<b>3.1 昼光利用</b>								
1	昼光率	4.0	0.30	-	-			
2	方位別開口	4.0	0.60	3.0	-			
3	昼光利用設備	-	-	3.0	-			
<b>3.2 グレア対策</b>								
1	照明器具のグレア	4.0	0.40	3.0	-			
2	昼光制御	4.0	0.30	-	-			
3	映り込み対策	4.0	1.00	3.0	-			
<b>3.3 照度</b>								
		3.0	0.15	3.0	-			
<b>3.4 照明制御</b>								
		3.0	0.25	3.0	-			
<b>4 空気環境</b>								<b>4.1</b>
<b>4.1 発生源対策</b>								
1	化学汚染物質	4.1	0.25	-	-			
2	アスベスト対策	5.0	0.50	-	-			
3	ダニ・カビ等	5.0	1.00	3.0	-			
4	レジオネラ対策	-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>								
1	換気量	3.3	0.30	-	-			
2	自然換気性能	3.0	0.33	3.0	-			
3	取り入れ外気への配慮	3.0	0.33	3.0	-			
4	給気計画	4.0	0.33	3.0	-			
<b>4.3 運用管理</b>								
1	CO <sub>2</sub> の監視	3.0	0.20	-	-			
2	喫煙の制御	1.0	0.50	-	-			
	館内全館禁煙とし、喫煙所を設けている	5.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>								<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>								<b>3.7</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>								
1	広さ・収納性	3.7	0.40	-	-			
2	高度情報通信設備対応	3.0	0.40	-	-			
3	バリアフリー計画	3.0	0.33	3.0	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>								
1	広さ感・景観	3.0	0.33	3.0	-			
2	リフレッシュスペース	5.0	0.30	-	-			
3	内装計画	5.0	0.33	3.0	-			
<b>1.3 維持管理</b>								
1	維持管理に配慮した設計	3.5	0.30	-	-			
2	維持管理用機能の確保	3.0	0.50	-	-			
3	衛生管理業務	4.0	0.50	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>								<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>								
1	耐震性	3.1	0.31	-	-			
2	免震・制振性能	3.0	0.48	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>								
1	躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	-	-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.33	-	-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.23	-	-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.09	-	-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.08	-	-			
6	主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.15	-	-			
		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.8	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	空調にビルマルの採用、用途毎に系統分け	4.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用、汚水層の設置	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電機設置、電源設備を地下空間に設けない	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化、情報機器を地下空間に設けない	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高が3.9m以上である	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	設備スペースを集約しラウンジの自由度を高くしている。 壁長さ比率=0.1	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		敷地周囲にはネットフェンス+植栽帯があり、 地域の緑地帯となっている	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制		PAL低減率=10.9%	3.5	0.30	-	-	3.5
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	トップライトを設置している	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率設備、高効率照明	4.4	0.30	-	-	4.4
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=23.9%	4.4		-	-	
集合住宅の評価			3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	省水型便器及び水栓を用いている	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.63	-	-	2.9
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	2種のリサイクル材を使用している	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない建材種別が4種以上ある	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2の排出量=82%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	